

## 平成22年度 袋井市予算の概要

一般会計の予算規模は、295億1,000万円で、前年度比5億3千万円、1.8%増であるが、平成22年度から「子ども手当」が創設され、これまでの児童手当と比べ、10億2千万円増額となることから、その分を差し引いた予算額は、284億9千万円で、前年度比4億9千万円、1.7%減となっている。

歳入は、内閣府が本年1月の月例経済報告において、「景気は、持ち直してきているが、自立性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」としており、雇用情勢の一層の悪化懸念やデフレの影響等先行きの不安要素も示されたところである。

このような中、本市の税収は、個人市民税を41億2千万円(前年度比12.0%減)、法人市民税を8億2百万円(前年度比33.3%減)、市税全体では135億4千9百万円(前年度比9億円、6.2%減)と見込んだ。

また、譲与税や交付金については、地方財政計画や県の予算措置見込みに基づき算定をした。

また、地方交付税は、普通交付税は13億円(前年度比1億円減)とし、普通交付税からの振替分となる臨時財政対策債は19億円(前年度比9億円増)を見込んだ。

また、市債は、臨時財政対策債19億円を含んだ48億3千万円(前年度比、3.4%増)とした。

このような財政状況の厳しい中であるが、平成22年度は、事務事業の点検やワンステップアップ運動など行財政改革を実施し、効率的、効果的な行財政に引き続き努め、「保健・医療・福祉・子育て・教育」の分野に特に重点を置くとともに、「農を活かしたまちづくり」に取り組み、市内にある農の資源を活用した事業を推進し、農から生まれる効用(心身の健康・いきがいなど)を広く市民が享受し市民生活の充実をめざします。

また、22年度は市制施行5周年にあたることから、5月16日(予定)にメロープラザにおいて5周年記念事業を挙げてまいります。

なお、重点施策における主要事業は次のとおりである。

## 平成22年度 主要事業（抜粋）

### 【保健・医療】

拡 妊婦健康診査助成事業	8,530万円
拡 特定不妊治療費助成事業	1,200万円
拡 救急医療委託業務	2,180万円
拡 袋井市民病院補助	9億7,700万円
拡 掛川市・袋井市新病院建設事務組合負担金	9,040万円

### 【福祉】

《新》児童デイサービス事業（早期療育）	2,400万円
拡 障害者介護給付事業	3億8,000万円
拡 障害者訓練等給付事業	1億5,000万円
拡 生活保護扶助	3億 900万円
拡 在宅介護支援金【介護保険特別会計】	1,150万円
《新》配食サービス事業【介護保険特別会計】	1,260万円

### 【子育て】

《新》子ども手当	17億2,000万円
《新》(仮称)愛野幼保園施設整備費補助	2億 550万円
《新》認証保育所制度	1,970万円
《新》親子交流広場(メロープラザ内)事業	1,600万円
拡 乳幼児等医療費扶助	1億7,300万円

### 【教育】

（総事業費 2億 550万円）

《新》袋井北小学校プール改築事業（H22～23）	↩ 8,220万円
《新》山名小学校校舎増築事業	2,530万円
拡 小・中学校特別支援学級等支援員	2,430万円
拡 幼稚園障害児等支援員	3,170万円

### 【農を活かしたまちづくり】

《新》ふくろい特産物宣伝隊支援事業	1,000万円
《新》全小学校への給茶器設置事業	2,500万円
《新》農を活かした授業づくり事業	60万円
《新》のびのび園庭グリーン事業	420万円
拡 市民農園整備事業補助	400万円

### 【その他】

《新》市制施行5周年記念関連事業	1,180万円
拡 新エネルギー導入奨励金交付事業	1,740万円
拡 余熱利用施設整備事業	13億3,000万円
拡 エントランス広場(近藤記念館)整備事業	2億 円